

人間生活以下に押しつけられ、土地を奪われて餓死にひんする貧農の激増、中小企業の没落、小市民の急速な凋落、新斯くして無産階級の生活の脅威は停止する所も知らぬ。運命と誇らしめにか、そこには唯飢餓在るのみ。資本家の温情にすがらんかされど、彼等資本家は即ち自ら温情主義の假面を捨て、我等の戦をいとなんで来て居る。労働者がザリム、農民或は小市民の横暴は餓死の斗争の一であるのみだ。かゝる客観的措勢の下に工場に海とに農村に街頭に全労農大衆の新なる斗争の波が捲き起され、資本の全線的攻撃を勇敢に反捲してある。我等は又かしく如き情勢を見るとき、單なる地方的同盟体より更に全国同盟体に加盟して、労内組合戦線の統一強化を成すことのししく又必要たるを信じ、無産大衆の心臓を、心臓と

して資本の全線的攻撃と戦い、ある全国労内組合同盟体に加盟することを昨年十月の拡大中央委員会に決議なし、茲末全国の同志と堅き握手の下に、敢果たる戦を續け、今日に至つたものがある。其の争議・紛議の大なるものは

三二年七月 映画館三官俱樂部従業員全員解雇を原因とする争議中、七月三日食料運搬工も隊と官憲の一大衝突をなし、数名の検査者を出したも、果敢たる斗争を以て戦ひ、解雇手當三千数百円外数項を獲得して大勝利に解決す。今七月末 神戸造船船内組合の労内時直制定外事項の噴願を造船主側に於て拒絶した、ゆゑ直ちに争議団を編成し、全員百三十名兵庫縣高松橋下に田平船を繋ぎ、争議団を置き、神戸全市の三十三ヶ所の造船所を向に廻し、斗争